



「メールの落とし穴」

(小学校5～6年, 中学校1年)

ねらい

モデルカリキュラム表【c3-1, c4-1】【f3-1, f4-1】

- ・携帯メールは便利であるが、使い方によっては健康を害したり人間関係が壊れたりすることがあることを知る。
- ・メールの送り手と受け手それぞれの立場を考え、適切な携帯メールの利用の仕方を考える。



「メールの落とし穴」(ちょっと待って, ケータイ DISC1 事例1)

待望のケータイを買ってもらった小学校5年生の美沙。さっそく親しい友だちとメール交換を始める。家にいても友だちと繋がっていられることに大喜び。メールが届くとすぐに返信を打つ。しかし、時間に関係なく次々と入ってくるメールに振り回される美沙。ちょっと返信が遅れただけで友だちとの関係がギクシャクしていく。夜中まで続くメールのやりとりで睡眠不足になり、生活リズムも乱れてしまう…。 視聴用資料より

http://www.elnet.go.jp/elnet_docs/keitai-dvd.htm

○留意点

- ・メールの送り手と受け手それぞれの立場で考え、望ましい利用の仕方を身につけさせる。

(受) = 情報の受け手としての知識を得る・配慮を知る

(送) = 情報の送り手としての工夫・配慮を知る

(メ) = 他のメディアを活用する

I. 携帯メール(電話)の便利さについて意見を出し合う(5分)

○ 携帯メールのどんなところが便利かな？

自分の経験や他から見聞きしたことなどを紹介し合う。

- (メ) 手紙やはがきと比較させることにより、携帯メールは時と場所を選ばず利用できることを知る。

WS: 携帯メール(電話)の便利なところは？

II. ドラマを視聴して、気付いたことを発表する(15分)

ビデオ: メールの落とし穴(ドラマ1) 5分54秒

○ ドラマを視聴して気付いたことや思ったことを発表しよう。

気付きや感想をグループで短冊にし、黒板に貼って送り手と受け手、その他に分類する。

- (受) 便利なはずの携帯電話に振り回されて、人間関係や健康に影響を及ぼしていたことを確認する。
- (送) 時間に関係なくメールを送りつけ、すぐに返信を要求する理不尽さがあったことを確認する。

※ 主人公の行動は“いつも繋がっていたい”“嫌われたくない”という気持ちではあるが、携帯メールに振り回されている結果になっていることを捉えられるようにする。

WS: 気付いたことや思ったことをメモしよう

III. メールを送り手と受け手のそれぞれの立場で解決方法を考える(15分)

○ どのようにメールとつきあっていけば良かったのだろう？

IIで気付いた問題点を焦点化し、送り手と受け手を行き来しながら考えるようにする。

- (送) 相手の都合を考えてすぐに返信を求めない配慮や時間帯を考えて送信することの大切さを知る。
- (受) 時間帯を考えた利用や、メールは文字情報だけのため誤解が生じやすいことを知る。
- (メ) 内容によって、メールよりも実際に会って伝えたり電話したりする方が良いことを知る。

WS: メールとうまくつきあっていくために

IV. 携帯メールを使うときの自分の対応を考える(15分)

○ 学習を振り返って、メールを送信するときと返信するときの内容を考えよう。

本時の学習内容を活用して例題に対してメール送信するかしないのか考え、メールの本文を作成する。作成したメールを紹介し合って、次の点をおさえながらまとめる。

※送り手と受け手のそれぞれで場面設定を行い、メール以外のメディアの選択もできる例題にする。

- (受) 誤解を招かない内容か、内容から他のメディアの選択肢はないか判断できる。
- (送) 本文の最後に「返信はいつでもいいよ」「また、明日学校でね」などの言葉を添えるなど配慮を心がける。

例題配付: メールの内容を考えよう

メールの落とし穴

() 年 () 組 () 番 氏名 ()

I. 携帯メールの便利なところって何だろう？ 手紙と比較して考えよう！

•

-

•

手紙

- ・到着まで2～3日かかる。
- ・ポストに配達される。
- ・1日に一回配達される。

Ⅱ. ドラマを見て、気付いたことや思ったことをメモしよう！

美沙について

友達について

その他

Ⅲ. 携帯メールとうまくつきあっていくためにどうすればいいのだろうか？

送り手

受付け

IV. 今日の学習を通して学んだことや大切だなと思ったことをまとめてみよう。

--

メールの落とし穴

() 年 () 組 () 番 氏名 ()

I. 携帯メールの便利なところって何だろう？ 手紙と比較して考えよう！

- ・いつでも、どこでも送信できる。

- ・1日に何回も送ったり受けたりできる。

手紙

- ・到着まで2～3日かかる。
- ・ポストに配達される。
- ・1日に一回配達される。

※ 携帯電話を持っていない生徒にも、携帯メールの特徴をしっかりとつかませたい。

II. ドラマを見て、気付いたことや思ったことをメモしよう！

美沙について

- ・禁止じゃないからと携帯を学校に持って行った。
- ・食事中に携帯電話を操作している。
- ・本人と会っているのにメールで返信しようとしている。

友達について

- ・レス遅すぎと美沙を責めた。
- ・塾だと知ってるはずなのに「シカト？」とメールした。
- ・夜遅くにメールしている。

その他

- ・お母さんや友だちとの関係がギクシャクしている。
- ・メールの文字だけでは相手に伝わりにくい。

III. 携帯メールとうまくつきあっていくためにどうすればいいのだろうか？

送り手

- ・相手の都合を考えて送信する。
- ・返信をすぐに求めない。
- ・誤解を与えない内容か考える。
- ・メールで伝えることが適切かどうか判断する。

※ 内容によっては、実際に会って話したり、電話するほうが良いといった意見がない場合は、教師が補足する。

受け手

- ・相手の都合を考えて返信する。
- ・メールで返信することが適切か、別の手段はないか判断する。
- ・文章だけで相手の気持ちを決めつけず、直接会って確かめる。

IV. 今日の学習を通して学んだことや大切だなと思ったことをまとめてみよう。

※ 学んだことを整理し、「相手意識を持って送信すること」「内容によって適切な手段は他にないか考えること」を常に意識してケータイメールを利用することが大切であることに気付かせたい。

「メールの落とし穴」

板書例

携帯メール → 手紙

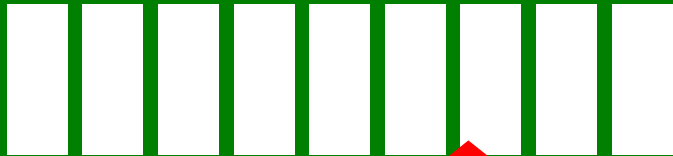
- ・送信、返事が速い
- ・いつでも、どこでも

便利！

嫌われたくない
繋がっていたい

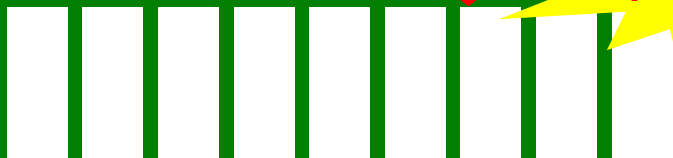
美沙

受け手



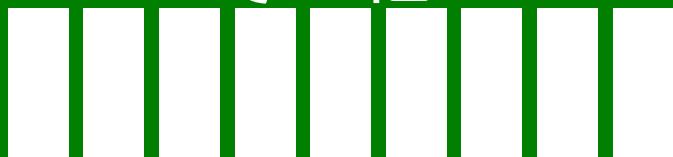
友だち

送り手



トラブル

その他



どのようにメールとつきあえばいいの？

送り手

受け手

- ・相手の都合を考えて送る
- ・時間帯を考える
- ・すぐ返事をしてと言わない
- ・誤解されないか内容確かめる

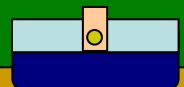
- ・相手の都合を考えて返信する
- ・時間帯を考えて返信する
- ・文章だけで相手の気持ちを決めつけない

伝える内容によって・・・

直接会って伝える。

電話で話をする。

方がいい場合も！



①こんな時，メールを送信しますか。

送信する ()

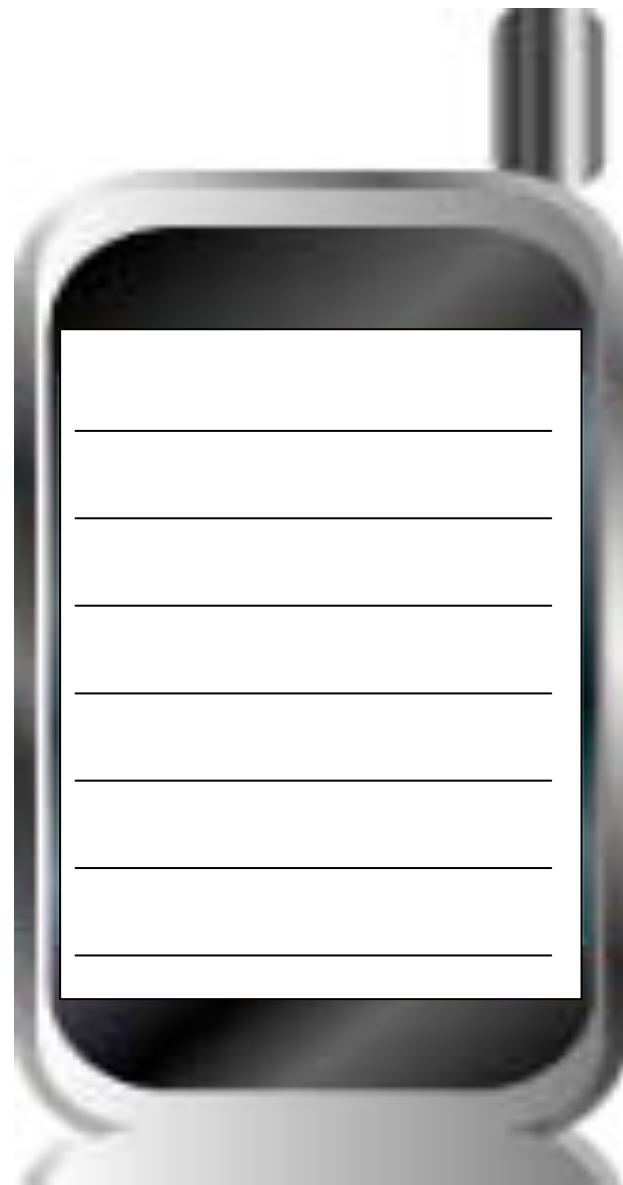
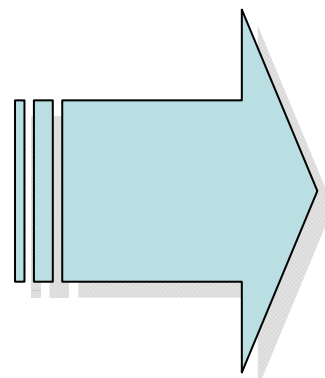
送信しない ()

②メールを送るとしたら，・・・。

金曜日の午後11時過ぎ・・・。

もうそろそろ寝ようと思って
ベッドへもぐりこむと，図書館
から借りていた読みかけの
本があることに気付いた。

月曜日の放課後，友人を誘って
帰り道にある図書館へ返し
に行こうと思って携帯電話を
持った。

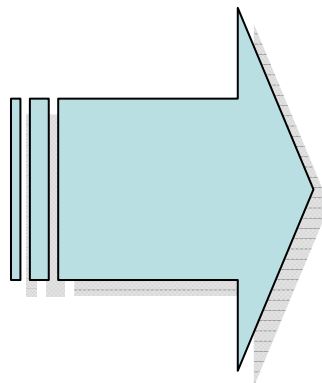
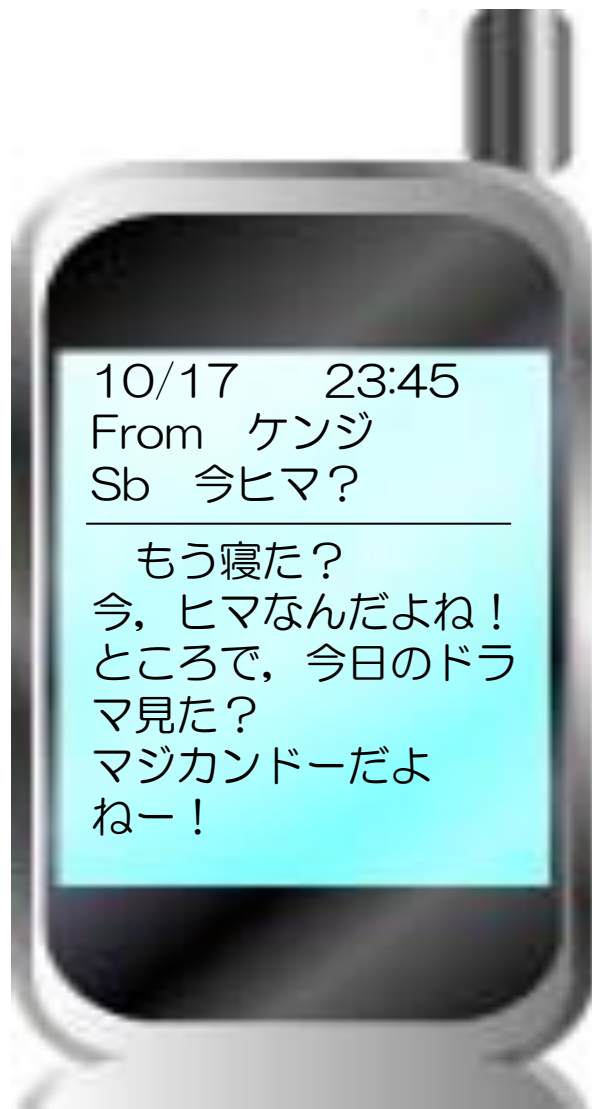


() 年 () 組 () 番 氏名 ()

①友人からのメールに返信しますか。

返信する（ ） 返信しない（ ）

②メールを返信するとしたら、・・・。



() 年 () 組 () 番 氏名 ()